

交流再開のための仁川連盟訪問報告

報告者：鈴木 武道

訪問日：平成 21 年 9 月 13 日

出席者：鄭副連盟長、権玉蘭国際コミッショナー
鈴木令子横浜南央地区委員長、鈴木武道

韓国仁川連盟の鄭副連盟長、権玉蘭国際コミッショナーを訪問し、今後の横浜南央地区・湘南地区と仁川連盟との国際交流プログラムについて再開の話し合いを行いましたので、その結果と概要を報告します。

当初予定されていた本年度（2009年2月～2010年1月）プログラムの来年2010年1月の訪日は、既に取りやめが決定していますが、来年度（2010年2月～2011年1月）の計画については、9月末に開催される仁川連盟理事会に、権玉蘭国際コミッショナーから提案をして貰える事になりました。

提案の概要は、2010年8月12日、または13日より、1週間の予定で訪日し、横浜南央・湘南地区との国際交流を行いたいという内容です。権玉蘭国際コミッショナーの希望は、最初の2泊と最後の1泊をホームステイ、その間に、日本のスカウトとの2～3泊のキャンプという内容です。

日程や交流の内容は、今後詰めていく事になりますが、韓国側としては、10月には、文部省に来年度の活動予定を提出して、年末までに計画の承認を得なければなりません。

鄭副理事長と権国際コミッショナーお二人の並々ならぬご尽力で、仁川連盟との国際交流の再開の方向性が決まったことは大変喜ばしいことではあります。なんとしてでも来年度には再開が実現出来る様に皆さんのご協力を切にお願いします。



2009年9月13日（日）パラダイスホテル前にて、訪問を出迎えてくれた、左より鄭副連盟長、権玉蘭国際コミッショナーのお二人。右は鈴木令子横浜南央地区委員長

以上

2010年の仁川連盟スカウト訪日希望（案）：

権玉蘭国際コミッショナーから提案された内容は下記の通り。詳細は今後双方で詰めて行く。

日程案：

8月12日（木）又は13日（金）12時頃：羽田空港着

第1日目：歓迎交流プログラム、ホームステイ

第2日目：ホームステイ

第3日目：日韓交流キャンポリー

第4日目：日韓交流キャンポリー

第5日目：日韓交流キャンポリー

第6日目：日韓交流キャンポリー、送別プログラム、ホームステイ

第7日目：帰国の途へ

8月18日（水）又は19日（木）午前：羽田空港発

韓国側参加スカウト・指導者数：

約30名（小学1年生～6年生のカブスカウト、及び中学1年生～3年生のボーイスカウトの混成）、
引率・随行指導者は5名～10名以内

（日本側の対象スカウトは、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊のスカウトになる。横浜南央地区・湘南地区のカブ隊スカウト、及び、日本ジャンボリーに参加しなかったボーイ隊、ベンチャー隊スカウトを中心に勧誘して、なるべく大勢のスカウトを集めたい。）

交通：

往復貸切バスを使用

場所：

は未定、公共の施設（舎営）希望。特に今夏招待中止となった朝霧キャンプ場は、世界ジャンボリー開催地として韓国でも知名度と人気が高く、希望がある。

参加費：

未定

以上